

診療情報及び診療時に採取・保管された検体を用いた研究に関するお知らせ

愛知県がんセンター

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記機関に提供し、下記研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	愛知県がんセンター中央病院 遺伝子病理診断部・医長・加藤省一
2. 研究課題名	ホジキンリンパ腫における治療反応性と予後の実態調査と予後影響因子解析
3. 研究の目的・方法	<p>ホジキンリンパ腫(Classical Hodgkin lymphoma: CHL)は、アメリカや西欧諸国では若年成人の最も一般的な悪性腫瘍で、悪性リンパ腫の30～50%を占めるのに対し、本邦ではその1/5程度といわれています。</p> <p>過去の本邦におけるCHL300余例の報告によりますと、その標準治療における治療反応性および予後は欧米の報告よりも悪く、細分類の割合も若干異なっているようです。ここで、本邦のCHLを把握するために、症例を集積し、その治療反応性、予後の評価を行う必要性があり、そのことが本邦における難治性のCHLの次なる治療を開発する上で助力になるものと考えられます。</p> <p>研究期間:2018年11月15日から西暦2020年3月31日 (遺伝子解析:②行わない)</p>
4. 研究の対象となる方	1986年1月から2006年12月までに生検病理組織診断にてCHLと診断された方。年齢は15歳以上です。
5. 研究に用いる検体・情報の種類	<p>検体名:病理診断を行った標本、病理組織からは、肉眼所見、病理所見、免疫染色の結果</p> <p>診療情報内容:電子カルテでの診療情報、電子カルテからは、年齢・性別・既往歴・臨床経過・採血結果・画像所見・生存期間・生死等の情報を収集します。</p>
6. 他機関への提供方法	病理組織標本およびファイル化した臨床情報は、パスワード保護、匿名化したうえで郵送致します。
7. 利用する者の範囲	名古屋大学大学院医学系研究科臓器病態診断学 (中村栄男)

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当センターの倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。

個人情報と安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。

また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いること、提供を拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

愛知県がんセンター 中央病院臨床試験部試験支援室  
倫理審査委員会事務局

住所：〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

FAX：(052-764-2963)

e-mail: irb@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)

研究内容	研究実施期間
研究内容	【H29.10.1改訂】 研究実施期間
研究内容	研究実施期間
研究内容	研究実施期間
研究内容	研究実施期間
研究内容	研究実施期間
研究内容	研究実施期間
研究内容	研究実施期間
研究内容	研究実施期間